

## G1ホープフルS

<最終見解>

12月の中山芝はトニービン持ち。特にハーツクライが絶好調。

有馬記念もドウデュースが勝ち、その前の同コース  
グッドラックハンデも人気薄のハーツクライ産駒が優勝。

12月の中山芝に出た産駒 11頭のうち 10頭が人気以上に走り 5勝。複勝率 63%。

本命はレガレイア。

父の父がハーツクライ。スワーヴリチャードの産駒も 17日の中山芝で産駒が 8人で連対。

近親にはディーピンパクト。

アンブライドルズソングの血を持つディーピンパクト産駒にはコントレイルやダノンプラチナ。  
JRAの2歳G1勝ち馬もを複数出しているように、若駒限定戦のスピード勝負に強い血。

相手本線はショウナンラプンタ。

ここまでで示した直線スピードはメンバー中最上位。

いくら軽い馬場とはいえ、G1の中山芝になれば、  
直線の長いコースよりは負荷がかかりますが、減速幅が少ない馬力型。  
相対比較でもコース変わりは有利

ヴェロキラトプスもスワーヴ産駒。

ミスタージーティーは去年の当レース勝ち馬と同じくドゥラメンテ産駒。  
ドゥラメンテもトニービン持ち種牡馬で今の馬場も好調。  
近親に去年当レース3着馬もいる母系。